

リサイクル機械 東南アで時間貸し

エムダイヤ



【富山】エムダイヤ「リ」で需要を掘り起こす。機械商社などを通じて現地企業に提案。5年後に海外で20億円売り上げを目指す。まずは環境意識が醸成されつつあるインドネシア、タイ、ベトナム、シンガポールに照準を合わせる。エムダイヤは約5年前から東南アジア進出を志向し、国際協力機構(JICA)を通じた事業化調査(FS)などに参画。現地展開の機会をうかがってきた。ただ

プリント基板から実装部品を取り除く「エココレクタ

機械の価格面で現地ニーズと折り合わず、海外進出を実現できなかった。そこで「時間貸し」のビジネスモデルで市場を深耕することにした。

具体的には自社開発したIoT(モノのインターネット)機器をリサイクル機械に搭載。稼働時間を同機器で詳細に把握し、利用者は使った時間分の料金を支払う仕組み。料金体系など詳細は今後詰める。事業が軌道に乗った時点で他のASEAN各国でも展開することを視野に入れる。

エムダイヤは切断機などリサイクル機械を製造・販売している。近年は、電線メーカーとリサイクル会社の間でアルミニウム電線を

アルミ原料に再資源化する仕事を仲介する事業も手がけるなど、環境ビジネスの裾野を拡大。一層の成長に向けた次の一手として、海外展開に乗り出す。